

出演者プロフィール

富田智容子

3才よりピアノを始め、小学校入学と同時に名古屋音楽学校に入学、数年間ピアノを学ぶ。名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、東京芸術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。第8回アゼリア推薦新人演奏会オーディションに合格、同演奏会に出演。大学卒業後、ピアノ留学のため渡英、約1年間ロンドンに滞在し、その後ハンガリーに渡り、6年間留学。ハンガリー国立リスト・フェレンツ音楽院修了。ハンガリー政府給費留学生、日本ハンガリー友好協会推薦奨学金留学生。

第23回国際ピアノコンクール(イタリア)セミファイナリスト。ハンガリー、イタリア各地でリサイタル、ジョイントコンサートに出演。帰国後は名古屋を中心に演奏活動を行い、2008年しらかわホール(名古屋)にてリサイタルを行う。これまでにピアノを、杉浦日出夫、藤井博子、笠間春子、ロナルド・カヴァリエ、ヴァレリア・セルヴァンスキー、ズージャ・エストー、故アンナ・ヴァリアーシュの各氏に師事。現在、東京福祉大学非常勤講師。

渡邊昭子

大阪教育大学教養学科准教授。神奈川県藤沢市生まれ。大学生の時にリュックサックを背負ってあちこち旅行し、東欧にはまってその歴史に興味を持つ。一橋大学大学院博士課程在学中に政府奨学金留学生としてハンガリーに留学。同大学で助手を務めた後、日本学術振興会海外特別研究員として再度ハンガリーに長期滞在。2004年より現職。専門分野はハンガリー近代の社会史で、とくに教会、学校、食文化等について調べている。

おもな業績

- ・「農民にとつての学校教育とは―二重君主国期ハンガリー、ツェグレード市のタニャ学校」土肥恒之編『地域の比較社会史 ヨーロッパとロシア』日本エディタースクール出版部、2007年
- ・《翻訳》
H.バラーシュ・エーヴァ『ハブスブルクとハンガリー』(岩崎周一氏と共訳)、成文社、2003年
ハンガリーの食文化に関するもの
- ・「ハンガリーの食文化」羽場久美子編『ハンガリーを知るための47章―ドナウの宝石』明石書店、2002年
- ・「パブリカ」山本紀夫編『トウガラシ讃歌』八坂書房、2010年
- ・「近代ハンガリーにおける国民的料理の誕生」『歴史研究』(大阪教育大学)48号、2011年

ナジ・アニタ

ピック社東京事務所アシスタント。ピック社が2008年に日本上陸を果たした直後からアシスタントとしてピック製品を紹介し、広げる仕事を手伝っている。主に通訳・製品関連資料翻訳を担当。1996~97年に1年間名古屋大学で日本語・日本文化研修コースにて勉強したため、愛知県に特別な愛着をもっている。ピック社業務とは別に、現代日本文学のハンガリー語への翻訳も手がけている。ハンガリーで出版されている翻訳は、糸山秋子著「沖で待つ」(芥川賞受賞作品)「勤労感謝の日」「袋小路の男」「イツオンリートーク」「NEET」「ばかもん」「海の仙人」がある。

マトウシュ・ロランド

1999~2000年大阪外国語大学日本語コースで学んだ後、2000~2006年名古屋大学経済学部、名古屋大学大学院GSIDで勉強。その後ハンガリーに帰国し、2006年5月から2009年3月まで旭硝子株式会社(ハンガリー)勤務。再び来日して2009~2011年名古屋大学大学院国際開発研究科で学ぶ。現在、株式会社イーオン英語講師をしている。愛知県ハンガリー友好協会主催のクリスマスパーティでは毎年美味しいハンガリー料理を作る。

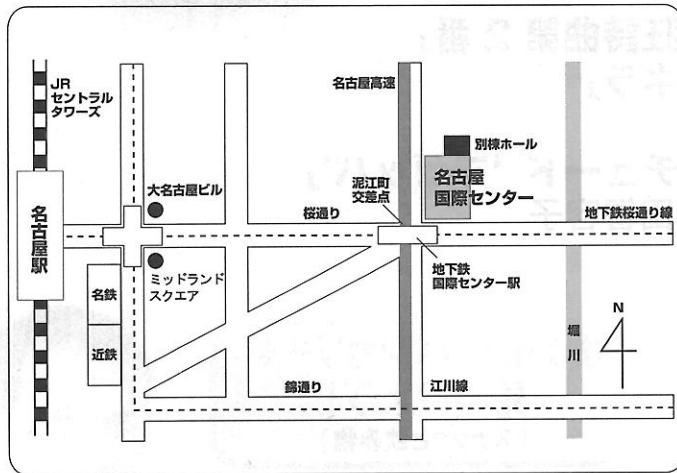
スズキビジネス

ハンガリー共和国とスズキ㈱

ハンガリーは従来旧ソ連邦の国家分業体制下で、バス、トラックの生産を行い、乗用車は旧ソ連邦、東欧諸国からの輸入に依存していた。1985年、スズキはハンガリー政府との乗用車生産の合併事業の本格交渉を開始、1990年に基本契約を締結。1991年に合併会社マジャールスズキコーポレーションを設立、そしてその翌年、1992年10月にハンガリー北部の街、エステルゴムで乗用車生産開始。マジャールスズキは年間の生産台数が17万台(2010年1月~12月)を突破、それら車種はハンガリー国内のみならず、欧州各国、そして日本へも輸出されている。マジャールスズキが設立されたことを契機に、ワイン、はちみつをはじめ、陶器や羽毛布団など、伝統に培われたハンガリー製品の紹介にも努めている。2007年に、ハンガリーワインの累計輸入本数が200万本を達成した。

㈱スズキビジネス(輸入担当 金澤弘樹)

【名古屋国際センター交通案内】



名古屋市中村区那古野1-47-1 (TEL.052-581-5689)

公共交通機関

●名古屋駅から東へ徒歩7分

JR「名古屋」、名鉄「名古屋」、近鉄「名古屋」、地下鉄「名古屋」駅から徒歩7分です。地下街「ユニモール」を直進していただくと、地下鉄桜通線「国際センター駅」及び名古屋国際センタービルの地下とつながっています。(財)名古屋国際センターへはビルの低層階エレベーターをご利用の上起こしください。

●地下桜通線「国際センター」駅下車すぐ

●市バス「国際センター」下車すぐ

高速道路

●名古屋高速「丸の内」出口から

出口から直進し、「日銀前」交差点を右折して桜通を名古屋駅方面に向かい、「泥江町(ひじえちょう)」交差点手前で右折してください。高速出口からの所要時間は約5分です。

別棟ホールへの行き方

ホールへの出入り口は地上のみですので、地下からお越しの方はビル1階の北側出口からホールへお入りください。

問合せ先

事務局

Tel : 0568-61-1000

E-mail: ambt@hotmail.co.jp

事務局長

志村 Tel/Fax: 0568-76-4347

ハンガリーフェスティバル

申込書

氏名	
住所 〒 □□□□□□	
電話番号	メールアドレス
友好協会会員ですか? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>	備考

FAXでのお申し込みは、**0568-63-0156**